

注目の商品・サービス

コモディティ投資の総合市場誕生!
東京商品取引所FX・株式に効率的な投資ができる
「くりっく365」「くりっく株365」東京商品取引所 市場構造研究所
山岡 博士氏

2013年2月12日に、金(貴金属)、石油関連、ゴム等の既存銘柄に加えて、大豆、小豆、とうもろこし、粗糖の農作物取引4銘柄が加わった「東京商品取引所(TOCOM)」が誕生しました。みなさまのコモディティ投資の一助になるよう取引所として努力していきたいと思っております。

本日はコモディティ投資の意義について話をします。意義は3つあります。1つ目は、値上がり期待が持てること。コモディティは新興国の経済発展に伴い、資源需要が増えており、将来的に価格が上昇することが考えられます。また最近ではコモディティに投資する機関投資家が増えたことも、近年の価格上昇要因の1つだと思います。

2つ目は分散投資です。株式、債券、

不動産、外国為替など、様々なアセットクラスに投資している人は多いと思いますが、まだまだコモディティに投資する人は少ないといえます。既存のアセットクラスとは違った特性を持っていることから、分散効果が期待できます。

3つ目はインフレヘッジです。アベノミクスは物価上昇率2%を目標にしています。円安傾向が進めば、輸入品の価格が上がり、物価が上昇することが考えられます。インフレになると資産が目減りしてしまいます。コモディティの場合、一般的に物価上昇に連動して価格が上がる傾向にあるため、インフレヘッジの役割が期待できるのです。

コモディティ投資へのアプローチとして

は、アクティブ運用とパッシブ運用の2つがあります。アクティブ運用とは市場のひずみやゆがみを探して利益を得ようとするもの。コモディティの中でもゆがみがあると考えられる銘柄を探し、割高なら売りから、割安なら買いから入って、大きな利益を狙うことができます。もう1つはパッシブ運用です。市場価格が読みにくく、どの銘柄に投資していいかわからない場合、将来的なコモディティ市場の上昇期待から収益を狙うのなら、コモディティのインデックスに投資するという方法もあります。

将来のインフレに備えて、また分散投資の一助として、ご自身のポートフォリオの一部にコモディティを取り入れることをおすすめしたいと思います。

東京商品取引所 証拠金営業部長
大房 弘憲氏

公的な取引所である東京金融取引所では、投資家のみなさまに安心して投資ができるよう取引所FX「くりっく365」と取引所株価指数証拠金取引「くりっく株365」を提供しています。

昨今、急激な円安になっているように、投資家にとってFXは収益機会を得られる魅力ある市場です。しかしかつては取引を規制する法律が存在せず、FX取扱業者が400社にも達し、トラブルになるケースも増えていました。そこで個人投資家が安心してFXに投資できるように2005年に誕生したのが「くりっく365」です。第一の特徴は厳格な資格要件を満たした取扱会社を選定し、証拠金は全額、東京金融取引所がお預かりする点

です。第二の特徴は、完全マーケットメイカー制度を導入している点。これにより流動性が高く、スプレッドが小さくて済む傾向にあります。第三の特徴は26通貨ペアを取り扱っていること。FX投資をお考えでしたら、ぜひ「くりっく365」をご活用ください。

一方、「くりっく株365」とは主要各国の株価指数に投資できるものです。証拠金取引ですので少ない資金で大きな取引ができ、資金効率がよいのが特徴です。

例えば日経225を取引する場合、日経225先物取引とは違い、取引期限に制限がないこと、金利相当額や配当相当額の受け払いがあること、取引時間がほぼ24時間であること、祝日も取引できること、

完全マーケットメイク方式であることなど、様々な利点があります。

「くりっく株365」で日経225に2012年4月から2013年3月に投資した場合、配当だけで2万603円が得られました。配当が得られることが「くりっく株365」の大きなメリットです。海外の株価指数への投資も可能です。

2012年末以降、株式の上昇相場が続く中、個別銘柄を選別することは難しいが、市場上昇の収益を獲得したいと考える場合、配当を得られ、レバレッジが効き資金効率がよい「くりっく株365」はぜひ個人投資家の皆様を知っていただきたい商品だと考えています。ぜひご活用いただければ幸いです。

The Seminar Press

2013年(平成25年)

5月18日発行

ゴールドニュース事務局
http://goldnews.jp/協賛
豊商事株式会社
後援
東京金融取引所
東京商品取引所

金×株×為替 スペシャリスト対談 大阪開催

金下落も実需の買いで
下値は1300ドル
円建て金は円安で狙い目

スタンダードバンク東京支店長
池水 雄一氏

1ドル120円になれば
日経平均株価は
1万7944円まで上昇余地

岡崎・鈴木パートナーズ 代表
岡崎 良介氏

ドルが下がったら
ひたすら買う
ドル円ロングがおすすめ

豊商事 シニアFXストラテジスト
大倉 たかし氏

ゴールドフェスタからのスピノフセミナー大阪初開催!

2012年11月から未曾有の急騰を続ける日本株市場。アベノミクスによる異次元の金融緩和により、リスクオフからリスクオンの流れが加速。債券から株式に資金をシフトする動きが鮮明になってきています。株式は急上昇、債券市場は金利が乱

高下、為替は1ドル100円を突破するなど円安傾向、金は一時200ドル以上の急落を記録するなど弱含みの状況。投資家にとって急変する市場をどう見通し、どこに資金をシフトすべきか悩んでいる方が多いのではないのでしょうか。

金投資を中心とした情報発信を行うゴールドフェスタ運営事務局では、2013年2月に東京で「金×株×為替：スペシャリスト対談」を実施。セミナー参加申し込みは1日半で定員満了になるなど、非常に好評でした。そこで、5月12日に大阪・

梅田で、5月25日に愛知・名古屋で「金×株×為替：スペシャリスト対談」セミナーを開催することになりました。今回は大阪・梅田「ブリーゼプラザ 小ホール」で行われた対談の模様を誌面でご紹介いたします。ぜひ一読ください!

当資料は、ゴールドニュース事務局がセミナーの模様を伝えることを目的に作成したものです。セミナーは投資判断の参考となる情報の提供を目的としています。実際に投資される場合の最終決定は、ご自身で行っていただくようお願い致します。各種情報の内容については万全を期していますが、その内容を保証するものではありません。また、将来の予測はその結果を保証するものではありません。

TOKYO GOLD FESTIVAL 2012
より深く学びたい方のためのスピノフセミナー Vol.3
「金×株×為替：スペシャリスト対談 in 大阪」
開催日時:2013年5月12日(日)
会場:大阪・梅田 ブリーゼプラザ 小ホール
主催:ゴールドフェスタ運営事務局
協賛:豊商事株式会社
後援:東京金融取引所、東京商品取引所
企画・運営:キャピタル・エフ株式会社

The Seminar Press

お問い合わせ先

キャピタル・エフ株式会社
ゴールドニュース事務局
東京都中央区日本橋富町11-15-503
E-mail:goldnews.jp@gmail.com

アクティブ投資家向けプレミアムセミナー 金×株×為替 スペシャリスト対談

激変する市場環境に投資家は
どう対応すべきか専門家がアドバイス!

大阪開催



ゴールドから株の時代がやってきた

大橋 市場がめまぐるしく変わっていますが、金相場では4月に歴史的な大暴落がありました。一体、何だったのでしょうか!
池水 キプロスが金を売ったから暴落したというのはまずデマでしょう。約14トンしか持っていないですから。それにしても200ドル以上暴落し、一時1トロイオンス1300ドル台にまで下がりました。これは完全にパニック売りです。でもパニックは2日以上は続きません。その後は1400ドル前後まで戻っています。

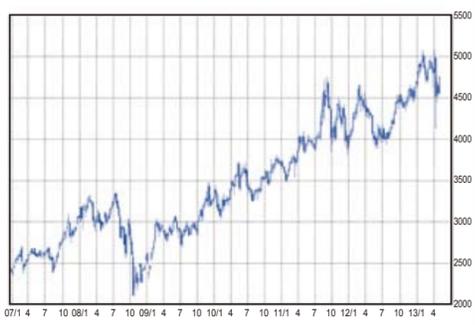
ただ大きな流れとしては、間違いなく金から株へという動きでしょう。金が評価される時代というのは世界経済が悪い時です。今は日本発の異次元の金融緩和を発端に、資金がリスク資産に向かうようになり、世界経済が改善方向に向かいつつあります。世界経済がいい時には金は下がります。

ある意味では、金は本来の役割に戻ったともいえます。「Buy&Forget」を購入したら忘れる。暴落したおかげで金は割安になりました。これだけ金価格が下がるとインドや中国など実需の金買いが旺盛になるので、1300ドルを割ることはまず考えられません。このところ、各国の中央銀行が金の保有量を増やしており、買いに

■NY金日足 (2012/5/1~2013/5/9)



■東京金先物・週足 (2007/1/1-2013/5/10)



転じていることも支ええる大きな要因になっています。絶好の買い時です。景気は必ず循環します。今の安いうちに金を一定量保有しておけば、数年後、また新たな世界経済不安の際に役立つ資産となるはず。また円建ての金で見れば円安効果で、まだまだ価格は上昇するでしょう。円建ての金は1グラム5000円台になるのではないかと考えています。

1ドル120円になれば日経平均株価は1万7944円

大橋 一方で日本株が大きく上昇しています。2013年2月に東京で同じ対談メンバーで議論した時、日経平均株価は1万1000円台でしたが、わずか3ヶ月で1万4000円台にまで上昇しました。この急激

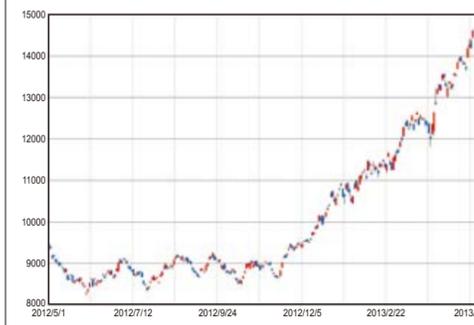
な相場を懐疑的に見る人もいますが、投資家は判断したらよいのでしょうか?
岡崎 多くの方が異次元の金融緩和のすごさを理解していないだと思います。日本銀行は世の中に流通するお金の量=マネタリーベースを2014年末までに現在の2倍の270兆円まで増やすとっています。こんなすさまじいことができるのは、世界では米国と日本しかない。なぜならどちらの国も突出した財政赤字があるからです。他の先進国ではこの規模の金融緩和はできませんし、ましてや新興国は財政赤字だからしたくてもできない。

異次元の金融緩和で日銀が国債を買い上げているので、完全に債券市場は機能しなくなりました。市場が機能しないため、投資家は債券を手放さざるを得ない。その売ったお金の流れてい

る先が日本株と海外物なわけです。このため株が急騰し、急激な円安ドル高が進んでいます。いわば日銀が国債を保有している金融機関から国債をむしり取っているという状況です。この動きがどこまで続くのか、正直、均衡点は見えません。そのぐらいすさまじいことをしているのです。基本的に株はまだ買いです。

ただ当たり前の話ですが株にも限界があります。円安効果で輸出株は好調ですが、もうこの株高についていけず脱落したものもあります。例えば株と同様に売買ができるJ-REIT (日本版不動産投信) や不動産株などです。ですから株に投資するなら「くりく株365」のような、レバレッジを効かせてインデックスに投資するか、輸出株などに選別して投資をするかでしょう。

■日経平均・日足 (2012/5/1~2013/5/10)



ちなみに日経平均株価はほぼドル円相場にリンクしています。過去のデータを調べたところ、およそ1円円安になると日経平均株価は225円上昇することになります。もしこの先1ドル120円になれば、日経平均株価は1万7944円になるでしょう。上値という意味ではこの辺りが目安です。

世界は通貨安競争再熱 まだまだ円安になる可能性大

大橋 為替市場では急激な円安が進行しています。ドル円相場はついに1ドル100円の壁を突破しました。

大倉 はっきりいってこんなとんでもない相場は見ることがありません。市場は完全なレジームチェンジを迎えたいといえるでしょう。過去の動きはほとんど参考にならないかもしれません。この先、はっきりいって

どうなるか、誰も予測がつかない。私もみなさんと同じように悩んでいます。円安傾向が続いていたとはいえ、今まで1ドル100円の壁を超えられなかった。しかしついに突破してしまいました。一度、大台に乗ってしまうと、急速に円安が進む可能性があります。その間、たびたび調整があるとは思いますが、下がったらドルを買い、また下がったらドルを買う。とにかくひたすらドル円ロングが吉だと私は踏んでいます。

テールリスクの後退ムードにより、海外勢は避難先としての円買いから逆流を始めています。各国中央銀行では外貨準備のポートフォリオを大きく変更しています。円を売る動きは今後も続くでしょう。また、日本の金融緩和により、世界は再び通貨安競争を始めました。米国も欧

州もオーストラリアも利下げ競争をして、なんとか自国通貨安にしたいと思っています。これだけ利下げしている状況の中、債券はとも投資できません。今、投資して、経済が復活して利上げに踏み切ったら、債券はボロボロになってしまうから。必然的に株へ株へと資金が押し出されているような状況になっています。
大橋 では、それぞれ今後、何がおすすですかをズバリ予測していただけますか?
池水 とにかく株でしょう!(笑)ドル建て金価格は弱含みでも円安効果で円建ての金はまだ上昇するでしょう。現物で少しづつ買うのもいいかもしれません。

岡崎 輸出株または日本株のインデックスでしょう。
大倉 ドル円ロングです。
大橋 どうもありがとうございました!

GOLD 金のスペシャリスト



池水 雄一さん
(いけみず・ゆういち)
スタンダードバンク
東京支店長
1962年兵庫県出身。1986年上智大学卒業後、住友商事株式会社入社。その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のフロン(貴金属)ディーラーでブルース(池水氏のディーラー名)の名を知らない人はいない。

著書「THE GOLDゴールドのすべて」(エイチスクエア)
初心者からアロまで、金投資にかかわるすべての人が頭に入れておくべき基礎知識であり金投資の哲学書でもある。

STOCK 株のスペシャリスト



岡崎 良介さん
(おかざき・りょうすけ)
岡崎・鈴木パートナーズ
代表
1959年生まれ。1983年慶応大学経済学部卒業。伊藤忠商事に入社後、米国勤務を経て、1987年に野村証券投資信託委託に移りファンドマネジャーとなる。1993年から日本バンカーストラスト信託銀行において、資産運用部門における債券為替担当取締役として年金・投信・ヘッジファンドなどの運用に携わる。2004年、フィスコ・アセットマネジメントの設立に運用担当最高責任者(CIO)として参画。2012年7月独立。

著書「新選選国・ニッポンを生き抜くマネーの鉄則」(日本経済新聞出版社)
「相場ローテーション」の考え方を応用し、衰退する日本経済においても、投資家が儲ける道を伝授する。

FOREX 為替のスペシャリスト



大倉 たかしさん
(おおくら・たかし)
豊商事
シニアFXストラテジスト
1977年にカリフォルニア州立大学を卒業後、バンク・オブ・アメリカに入社。カントリー・トレーダーとして、為替資金証券部を統括。1993年にファースト・シカゴ銀行にトレーダーとして移籍。2000年、パークレイズ銀行にデイトレ兼東京支店副支店長として移籍。その間、東京外国為替市場委員会副議長、日本フロンテックス理事などを歴任。2006年9月より豊商事株式会社シニアFXストラテジスト。

著書「外国為替取引-FXディーラーの目で見た世界」(市場経済研究所)
外国為替相場の教科書的指図書。長年にわたり為替市場の第一線で世界を相手に闘ってきた著者がその経験を評述する。

MC 自らトレードするアナウンサー



大橋 ひろこさん
(おおし・ひろこ)
フリーアナウンサー
ラジオNIKKEIでレギュラーキャスターを務めるかたわら、豊商事株式会社から提供される動画マーケット情報サービス「YMTV」の専属キャスターとして出演中。名物番組「本音で言わせて!」では講師である豊商事・大倉たかし氏との息の合ったやりとりが多くの視聴者をひきつけている。自らのFXトレードの記録をブログで赤裸々に公開するなど投資経験も豊富。特にリアルタイム関連に造詣が深く、ラジオ、セミナーでは投資家目線での進行に定評がある。投資関連モテラーのスペシャリスト。

ブログ「ひろこのボラタイルな日々」
自ら行うFXトレードの記録を詳細に公開中!